

令和7年度 愛媛県NPO法人活動助成事業提示テーマ個別票

部局名：土木部

| | | | | | |
|-------|--|----|-----|--------------|------------------------|
| 課(室)名 | 河川課 | 係名 | 計画係 | 電話番号 (内線) | 089-941-4779 (4346) |
| テーマ | 流域治水の推進について | | | | |
| 概要 | <p>県では、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、これまでの河川改修などのハード対策に加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で被害軽減に取り組む「流域治水」を推進しており、関係機関が連携し「流域治水プロジェクト」を策定し治水対策に取り組むほか、住民や企業向けの「流域治水マニュアル」の策定や流域治水を推進する企業等の登録制度を創設するとともに、小中学生を対象にした防災教育を実施するなど、住民や企業等の理解・共感を得るための取組みを進めている。</p> | | | | |
| 内容 | <p>【現状・課題・目標等】 流域治水の実効性を確保するためには、流域内のあらゆる関係者(住民や企業等)に自分事として「流域治水」に取り組んでもらう必要があるが、令和6年12月に実施した「流域治水」に関するアンケートでは、「流域治水」の内容を知っているのは全体のわずか8%程度、「流域治水」の言葉のみ知っている人を加えても全体の35%程度と、前年度調査とほぼ同じ結果となり、まだまだ流域治水の認知度が低い状況となっている。 このことから、理解・共感を得るための取組みをさらに進め、参画意識の醸成を図っていく必要がある。</p> | | | | |
| | <p>【期待する企画提案】 ○地域で実施されるさまざまなイベントにおいて「流域治水」ブースを設け、地域の特性を反映したパネルや模型、紙芝居などを活用し、子供から大人まで楽しく分かりやすい催しとすることで、「流域治水」の推進を図る。 ・気候変動の影響による降雨量の推移状況や今後の見込みについて ・なぜ流域治水に取り組む必要があるのか、誰のためにやるのか ・どのような取組みがあるのか、自分には何ができるのか など</p> | | | | |
| | <p>【特記事項】</p> | | | | |